

国鉄 モハ54型 形式図

モハ54は1937年から41年にかけて9輛が製造された電車
 3扉車でありながらクロスシートも備え、近年の111系を始めとする近郊型電車によく似た車内配置
 モハ51系の一員で、電動機出力が強化されたため別形式となった
 図は1940年に就役した3輛の当初の姿で、ウインドシルやヘッダーをなくした、いわゆるノーシル・ノーヘッダーに
 張り上げ屋根という、当時として大いに洗練されたスタイルを誇った車輛

